

1984年核データ研究会プログラム 実行委員会第4回会合議事録

日 時 昭和59年9月3日(月) 13時30分～16時
場 所 原研東海研究所研究2棟 221号室
出席者 松延(住友原子力), 中嶋(法政大), 大竹(富士電気), 中沢(東大),
椋山(東北大), 五十嵐, 浅見, 菊池, 水本, 中川(原研)

配布資料

- (1) 前回議事録
- (2) Dr. Cai Dunjin から原田委員長への手紙
- (3) 五十嵐委員からDr. Cai Dunjin への手紙
- (4) 五十嵐委員からDr. Boldeman への手紙
- (5) 研究会プログラム(英文)
- (6) ポスターセッション検討会議事録

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 経過報告
 - (1) 中国から2～3名出席できるかもしれない旨の手紙が来た。配布資料(2)
 - (2) Boldeman氏に配布資料(4)の手紙を出したが返事は来ていない。
 - (3) 7月30日付けで, シグマ委員全員に第1回サーキュラーを出した。配布資料(5)。講演者には11月30日をメ切として, Proceedingの原稿依頼を出した。この他核データニュース配布先の中から46名にも第1回サーキュラーを出した。
 - (4) プログラムの一部(11月14日午後)を菊地委員と北沢氏の話し合いで変更した。
3. ポスターセッション検討会報告

配布資料(6)にもとづき, 浅見委員から8月27日に開かれたポスターセッション検討会の様子が報告された。パネルについては浅見委員が調べた結果, 原研のパネルは文化祭のため使用できないが, 東海村村民会館のパネル(原研のパネルと同じ大きさ)が無料で借りられそうである。ポスターセッションの表題は「原

研核データセンターから提供できる核データファイル」英文表題は「Nuclear Data Files available from JAERI Nuclear Data Center」とする事とした。

4. 今後の作業

9月14日 運営委員会に本日の議論の結果を報告

- その後
- 第2サーキュラーを国内に配布。中国からの参加が確定していないが、参加の確定した場合のプログラムの変更は核データセンターにまかせる。最終決定は9月26日ないし27日とし、第2サーキュラーを送付する。
 - 講演依頼には、「専門家以外にもかわるよう平易にまとめて下さい」という文章を入れる。

以上